学校番号	３０３２Ｂ

令和８年度　農業科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の各分野に関する実践的・体験的な学習・実習を行い、農業の専門的な知識・技術の定着と進化を図り、総合的な知識と技術を体験的・系統的に習得することをめざします。
栽培・飼養実習のほか加工・販売実習、調査・研究活動にも取り組みます。
また、放課後や長期休業中なども実習に取り組み、栽培から生産物の販売、経営や流通までを実践的に学びます。

2　学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（２）農業に関する総合的な課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。	農業に関する総合的な課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	栽培・飼養管理の実際・農業クラブ活動	○果樹の栽培管理 ○果菜類の栽培管理 ○イネの栽培管理 ○家畜の飼養管理 ○農産加工実習 ○各種発表会 ○体験プログラムの運営(交流授業ほか) ○生産現場等の見学 ○就業体験活動(学校内外における販売実習など) ○ホームプロジェクト	a: 農業の各分野に関する専門的な知識を身に付け、生育特性に応じた方法を理解し、その技術を適切かつ横断的に活用している。 b: 農業の各分野に関する専門的な知識や技術について思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断する姿が見られる。 c: 農業の各分野について興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	レポート	発表態度 実習記録	授業観察 実習記録

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度